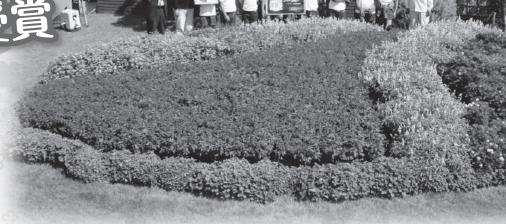
甲南中部小学校の秋花壇がFBC (フラワー・ブラボー・コンクール)秋 花壇で名誉大賞を受賞されました。

同校は、昭和56年度から毎年春・秋 花壇ともに参加する伝統校。これま で大賞や農林水産大臣賞などを受賞 し、名誉大賞は2度目となります。



▲名誉大賞を受賞した甲南中部小秋花壇

輝く太陽をイメージ

今回の花壇のテーマは6年の田中杏さんが考えた「かがやけ中部小」。中央の真っ赤なサルビアは太陽をイメージ し、中部っ子が太陽に負けないくらい輝き、未来に向かってはばたいていく躍動感を表しています。その周りに配置 された黄色は父母、白色は先生、青色はスクールガードの方を表し、子どもたちが多くの人に見守られている様子を 表現しています。

5月の種まきから始まり、土作り、ポット移植、花壇への植え付けなど、ボランティア委員会の委員を中心に世話をさ れました。今年は猛暑で水やりが大変だったそうですが、夏の日差しを浴びて花はぐんぐん大きく育ちました。



▲中央審査を受けるボランティア委員会の皆さん

地域に広がる花づくりの輪

同校では、一人一鉢栽培や花壇の写生、花壇に集まる虫調べ、全校 種取り大会など年間を通して、全校みんなが花にふれあっています。

学校での活動に加え、保護者や老人クラブの方と取り組む地区花 **壇や保育園への花のプレゼントなど、花づくりの輪は地域へも広** がっています。

る活動 育樹意 圓 は 地 育樹活動の は多大で E 対 域 寄与 がする 全体 がが 識 効 高 0 つ あ 功 高 7 な 0

林資源の



全国育樹祭で表彰を受けられた 大原共有山財産区管理会の皆さん

野庁長官賞を受賞され **耒記念植樹はこれまでに116回を数え.** Uれた第3回全国育樹祭で表彰が行われまし 利用促進 大原共有山財産区管理会(会長西田貞夫)が林 平成22年度全国育樹活動コンクー 2材の有効利用を図るための基盤整備 !会は地元の銘木「甲賀ヒ 枝打ちなどの作業を毎年継続的に実施さ 地 域 などに意欲的 森林環境学習の推進にも古くから 大原学区民による山林の下刈 \bigcirc 親 陸を深 大原小学校6年生による卒 10月3日に群馬県で開催 に取り組まれています。 8 ノキ」の立木売却や 育樹意識 を高め 地 地

全国 育樹活動コンクー

2010.11.15